

湖南省教育だより

令和6年(2024年)3月1日
No. 5



発行 湖南省教育委員会教育研究所
湖南省石部中央一丁目1番1号 西庁舎内

TEL 0748-77-7052(直通) FAX 0748-77-4101(代)



「地域とともに子どもを育てる湖南省教育」 にかける合同研修会を開催しました

2月13日(火)、サンヒルズ甲西に「地域とともに子どもを育てる湖南省教育」のもとにつながる関係者が一堂に会しました。湖南省における地域学校協働活動の成果と課題を明らかにし、学校と地域が今後いかに連携を図っていくかについて考えを深めました。

○研修会・パネルディスカッション 「地域とともに子どもを育てる湖南省教育 ～今こそ原点回帰～」

平成19年度に岩根小学校がコミュニティ・スクール(CS)になったことを始まりに現在は市内全小中学校がCSになっています。CSが始まって10年以上が経ち、成果や課題がたくさん見えてきました。滋賀県教育委員会生涯学習課 川口主幹と岩根小学校 川邊校長、湖南省教育研究所 法山所長が「今こそ原点回帰」をテーマに話をしました。

原点回帰「CSの可能性は？」

ますます期待感が高まります。



法山 由紀子 所長



川口 進一郎 主幹



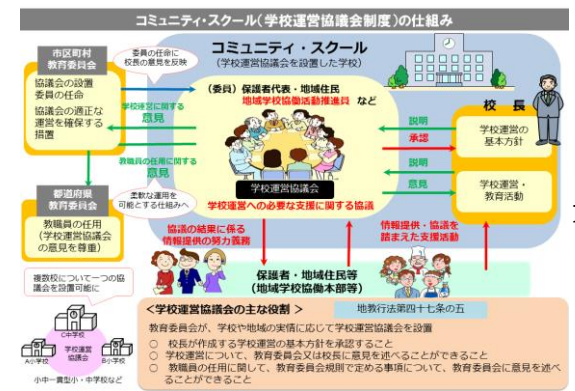
川邊 裕子 校長

○感謝状贈呈式

スクールガードや読書ボランティア、学校運営協議会委員など長年にわたり地域学校協働活動推進事業等でお世話になった方に、教育長より感謝状が贈呈されました。



コミュニティスクール(CS)とは？



文部科学省
HP ↓



○子どもの本気はすごい。本気を発揮できるのは、学校と地域との連携あってこそ。
○必要となることを無理なく続けることがひいては学校や地域の大きな渦になります。

○地域の方の子ども愛、学校愛。
○「子どもをお客さんにしない」を合言葉に、子どもが主役となる事業を学校と地域が一体となって計画・運営しています。

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える仕組みです。

湖南省のICTを活用した授業や働き方改革

令和3年度より湖南省をはじめ全国の小中学校で、子ども1人に1台のタブレット端末（本市ではiPad）が貸与され、それを活用した授業が展開されています。（GIGAスクール構想）

本市では、端末を活用した授業を推進するために「ICT授業推進ワーキンググループ」、働き方改革を推進するために「ICT活用推進委員会」を組織し、取組を進めています。また、今年度は文部科学省のリーディングDXスクール事業に菩提寺小学校と甲西北中学校が指定校となり、先進的な取組を行いました。



○ICT授業推進ワーキンググループ

市内の各小中学校の校長から推薦されたリーダーがICTを活用した授業を各校で公開しました。年3回の集合研修では、メンバー同士で情報交換をし、学びを深めました。今年度は、前年度のメンバーがコーチとなり、先生同士のつながりがより強くなりました。

成果は実践事例集にまとめ、各校に配布し、授業づくりに活用します。

○文部科学省「リーディングDXスクール事業」

教育だよりNo.3(9月)でも紹介したとおり、菩提寺小学校と甲西北中学校がICTを活用した授業づくりと働き方改革に取り組みました。その成果が文部科学省のサイトで公開されています。



文部科学省「リーディングDXスクール事業サイト」



○ICT活用推進委員会

市内の各小中学校の管理職とICT活用を推進する教員1名ずつで構成されています。各校での業務を、ICTを活用して効率化することを考えています。

本年度は4つのチームを結成し、課題の共有と解決策を検討します。図のようなサイクルを回し、好事例を市内全体に展開ができるようにしました。

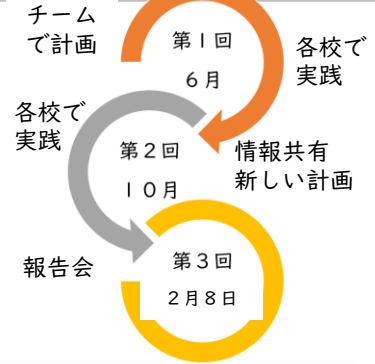
<チームプロジェクトのテーマ>

- ①会議のペーパーレス化
- ②学級経営の効率化
- ③学校HPの活用
- ④校内業務の効率化

・2月8日（木）「学校業務DX報告会」



端末を活用した意見交流 ↑



各校で取り組んだ好事例を市内で横展開できるように、報告会を行いました。試行錯誤しながら進めてきた事例は、どれも参考になるもので、「来年度にどのような取組をしようか。」と委員の気持ちが高まりました。